

事務事業名 地域活性化商品券補助事業

出力日：令和05年04月27日

キーコード：1385

施策：	04	地域に活力をもたらす産業・雇用の創出	財務コード	01060102-17-00
基本事業：	02	市内・地元商店街における消費の拡大	担当部	環境経済部
基本事業の成果指標	日用品を市内で買っている市民の割合		担当課	商工観光課
	日用品を市内商店街で買っている市民の割合		担当係	商工観光担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成21年度 ~	新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
商工会		商工会が発行する商品券により、市内の消費拡大、地域経済の活性化に寄与する目的に事業を実施する。事業費としてプレミアム分等を補助するもの。				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）		【令和3年度】 1冊10,000円（500円×24枚）を30,000セット販売 プレミアム率は20% 共通券（大型店、小型店で使用可） 一般券（大型店では使用不可）の2種類の券を発行				
筑紫野市の消費拡大、地域経済の活性化につなげる。						

4. 成果（簡易評価は未記入）								
成果指標名称	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	目標
		実績	実績	当初	要求	計画	計画	
大型店以外での利用額	千円	213,954	185,719	100,000	100,000			180,000

5. コスト								
事業費	計	千円	30,000	30,000	10,000	32,500		
	国	千円		0	0	22,500		
	県	千円		0	0	0		
	地方債	千円		0	0	0		
	その他	千円		0	0	0		
	一般	千円	30,000	30,000	10,000	10,000		
正職員人工数	人工		0.2	0.2	0.2			
正職員人件費	千円		1,606	1,584	1,546			
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円		31,606	31,584	11,546	32,500		

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）								
あがっている	【令和3年度】 500円券×24枚=12,000円分を10,000円で販売。共通券12枚（大型店でも使用可）、一般券12枚（大型店不可）。大型店以外で使用した割合が60%程度という結果が出ており、確実に地域の商工業者の活性化に繋がっている。また、コロナ対策として商品券引替時の密を避けるため、引替時間を分散し人流の整備に努めた。							
どちらかといえばあがっている	平成27年度からこれまでの先着順から先行予約制に販売方法を変更し、安心して購入できるようにした。							
あがっていない（停滞・低下）	平成30年度から大型店扱いの店舗を増やし、一般券が中小店舗へのシフトするよう工夫した。							

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）								
対象動向	維持	類似事業	なし	地域経済の活性化のための事業として必要である。国の経済動向が緩やかな回復基調にあるなか、個人消費の伸び悩みなど、商店街をはじめ地域経済は依然厳しい状況にある。				
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし					
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし					
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし					
成果向上余地	大きい							

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
--------------------------	--	--	--	-------	----	-----	----	------

改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）								
使用できる店舗を増やすなど、より魅力的な事業になるよう検討が必要である。								

事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				備考・特記事項 or 進行管理欄				
市内での消費拡大と地域経済の活性化を図る目的で平成21年度から事業を実施している。 平成29年度：15%、1億4千万円で実施 平成30年度、令和元年度：10%、1億5千万円で実施 令和2年度、令和3年度：20%、3億円で実施								